

かけはし

岩国市立錦中学校だより 第14号

令和元年(2019年)11月25日(月)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/>

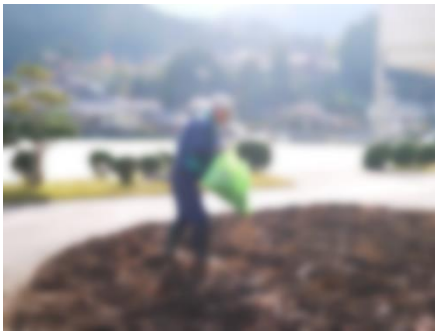
『上に上がって見てみようよ』

校長 秋本 泰宏

秋も深まり、冬の足音が近づいています。休日の早朝、寂地峡の紅葉を見に行くと今年もみごとに赤く染まっており、冷え込みを忘れてしばらく見入っていました。

さて、11月は行事の多い月となりました。デンマークの大学生との交流に始まり、合唱祭、職場体験……。生徒も教職員も多忙な日々を過ごしました。

そのような忙しいある朝のことです。花壇の植え替えの時期になり、パンジーの苗を生徒の手で配置し、植え替えることになりました。何気なく見ていると、苗がデザイン通り配置されている



花壇の土壌改良中

かを確認するため、誰かが『上に上がって見てみようよ』と発言し、2階から確認していました。生徒に任せることによって、生徒が創意・工夫をしている場面に出会い、うれしかった朝の出来事でした。

なお、この花壇は校務員さんと教育委員会錦支所の全面協力により、土壌改良中です。春にはウォーキングのついでに花壇を見に来てください。



みごとな寂地峡の紅葉

日頃の練習の成果が十分発揮された合唱祭



合唱祭の様子

11月8日(金)シンフォニア岩国コンサートホールにて第66回岩国市・和木町中学校合唱祭が開かれました。

本校は、文化祭でも披露した「美しい約束」を全校合唱で披露しました。

1年生A. Oさんの『今まで練習してきたことをすべて出し切った』という感想に代表されるように生徒も練習の成果をしっかりと出せたようです。合唱祭の指導講師の先生からも「全校合唱の取組の中でピアノを美しく響かせる聴かせどころを作り上げたとてもすてきな合唱表現でした。発

音を意識した言葉や旋律の輪郭がはっきりくっきりと鮮明に表れており、日頃の音楽科の授業の成果が十分発揮されています。音楽的な指揮と力強い表現に心から拍手を送ります」と評していただきました。

言葉には霊が宿る～人権教育講演会～

本年度 2 回目の学校公開週間の最終日 11 月 16 日(土)に人権教育講演会を開きました。生徒だけでなく、教職員、保護者、地域の方、合計 85 名が参加し講演を聴きました。

テレビなどで幅広く活躍される方を講師にお迎えして、「個性を伸ばして生きる」と題して講演していただきました。講演の前半は、映画の話や家族のことなど生徒の身近な話題が飛び交い、会場は、明るい笑いに包まれていました。一転して後半は、障がいやいじめなどを自身の体験から話される講師の方の話に、参加した会場の全員が聴き入っていました。



講演会の様子

大橋さんの言葉をお借りすると、講演中にちりばめられた言霊たちが、講演の後に書かれた生徒の感想に現れていました。いくつかの感想を紹介します。

- 「個性」というのがうまく相手に認めてもらえない、「認める」ということが難しい。今日の講演を聴いて、涙が出そうになりました。
- 私には「神楽に携わりたい」という夢があります。この夢を決して忘れたくないので大橋さんのように「いつも神楽」と紙に書いてずっと持つておこうと思います。
- 私は言葉には気持ちがかもるということが一番心に残りました。私につけてくれた名前も父母の気持ちがかもっていると思うので大切にしたい。

なおこの会は、岩国市青少年育成市民会議錦地区会議のご支援により実現することができました。ご支援ありがとうございました。

授業より楽しい職場体験！？



図書館で職場体験

11 月 11、12 日の二日間、9 つの事業所で 2 年生 14 名が職場体験をさせていただきました。生徒の甘えが出ないように 1 人もしくは 2 人で体験させたいという学校の思いで多くの事業所にご協力をお願いしました。

様子を見ようと職場を訪問すると、緊張しながらも生き生きと活動する生徒たちに出会うことができました。「この体験ならたくさんレポートが書ける！」と明るく答える生徒に体験の充実を感じました。中には、「学校の授業より

も楽しい」という生徒もあり、教職員一同、ちょっと複雑な気持ちにもなりました。

生徒が充実した体験を行えたのは、ひとえに生徒を快く引き受けていただき、様々な準備をしていただいた事業所の皆様のおかげです。ご協力ありがとうございました。

いじめのない学校をめざして

前回の学校だよりでお知らせした「いじめに関する保護者アンケート」の結果についてお知らせします。このアンケートは 33 家庭中 31 家庭の保護者の回答を得ることができ、回収率は 93.9%でした。お忙しい中ご協力ありがとうございました。

その結果、錦中において「いじめがある」と回答していただいた家庭が 1 件、また別の方の自由記述には、中学生の言葉遣いについての意見がありました。

この結果を真摯に受け止め、いじめの未然防止と早期対応について、校内生徒指導委員会を開き、①生徒の言葉遣いについてはその都度指導を行う、②生徒の些細な変化を見逃さない授業や休み時間の見守りの徹底、③思いやりの心を育てる道徳の授業や教育相談の充実等について再度確認しました。この結果を職員会議で提案し、全教職員で確認したところです。今後とも何かお気づきがあれば、ぜひ学校へご連絡ください。